

近畿スポーツランド ロードレースシリーズ2020 2020年度競技規則書



※赤色表示部分は今年度変更された部分です。

レース開催日

- 第1戦 4月19日(日)
[J-TRIP杯 近畿スポーツランドロードレースシリーズ2020]
- 第2戦 8月2日(日)
[小西記念 近畿スポーツランドロードレースシリーズ2020]
- 最終戦 10月25日(日)
[KTC杯 近畿スポーツランドロードレースシリーズ2020]

レース概要

主催 近畿スポーツランド
運営 KSLオフィシャルクラブ / 大西塾 / 武蔵坊レーシング
協力 株式会社ディック ワディーデザイン
協賛 各社(別紙参照)

開催クラス

クラス	説明	参加制限タイム
ルーキー*	ルーキー・初心者対象	48.0秒
ジェネレーション*	年齢45歳以上対象クラス	45.0秒
FN4&FP	4スト ノーマル スクーター / 2スト 準改造 スクーター	
M-3*	ノーマル ミッション車両(フレッシュマン)	46.0秒
M-2*	ノーマル ミッション車両(ノービス)	45.0秒
M-1*	ノーマル ミッション車両	43.5秒
M-GP	ノーマル ミッション車両(エキスパート)	
HRC グロム カップ	HRC グロム ワンメイクレース	
NSF100 HRCトロフィー	HRC NSF100 ワンメイクレース	
CBR250R Dream Cup	Eクラス / Bクラス*	45.0秒
RM250	ロードミドル 250ccクラス	
OP	オープン 改造車両	
SN50	スクーター 50cc ノーマル車両 装備体重・選手技量によりレギュレーションが変動。	
74Daijroクラス	74Daijroワンメイクレース	
SPクラス	2スト/4スト 準改造 ミッション車両	
LM17	ライトミドル17クラス 4スト 125cc 17インチ ノーマルミッション車両	
NEW! MFJ近畿ミニバイククラス (MFJ承認レース)	4スト 12インチ ノーマルエンジン ※車両規則はM系4クラスと基本的に同一レギュレーション	

※ *のクラスは参加制限タイムがあります。
(参加制限タイム以下で走行できる方は参加をご遠慮ください)
※ [M系4クラス]とは、M-GP・M-1・M-2・M-3の4クラスの総称として表現しています。

特別ルール

- ジェネレーションクラス **45歳以上の方が対象**
予選はありません。スターティンググリッドは女性ライダーを優先でくじぎで決定し、女性ライダーの後に男性ライダーが年齢の高い順のグリッドとなります。
- CBR250R Dream Cupクラス
Eクラスは参加制限タイムなし(チャンピオンシップ)、Bクラスは参加制限タイム(45秒)あり
- RM250クラス・CBR250R E/Bクラス
上記3クラスは、練習・予選・決勝とも両クラスの混走となります。表彰はクラス別。両クラス合計で12台迄の受付となります。但し、主催者判断により単独開催になる場合もあります。尚、上記クラスのダブルエントリーは出来ませんのでご注意ください。
RM250クラスは今年度よりチャンピオンシップではありません。
- SN50クラス
2スト/4ストスクーター50cc車両。装備込体重(装備+体重)や車両馬力(ps)によりレギュレーションが変動する。
- 近畿ミニバイクロードレース選手権(MFJ承認レース)MFJ近畿ミニバイククラス
本年度より開催され、年間ランキング上位者はMFJ近畿キング表彰式にてランキング表彰及び副賞が送られる。【出場資格】9歳以上かつ年度有効なMFJ競技ライセンス保持者。【出場可能ライセンス区分】種目問わずエンジン以上(ピットクルーはタイプAのみ)。但し、スポーツ安全保険加入のある区分。詳しくは下記ホームページを参照。
※2020近畿ミニバイクロードレース選手権 開催概要(特別規則)
<https://www.jmps.or.jp/block/kinki/race/e11558.html>

参加資格

- 原付免許を含む運転免許証の所持者で、近畿スポーツランド規則を熟知している方。
- 近畿スポーツランド走行資格のある方(近畿スポーツランドビデオ講習受講者含む)。
- 近畿スポーツランド、近畿スポーツランドの認めるサーキットライセンス所持者。
- 未成年の場合は出場に関して親権者の同意がある方。
- MFJ近畿ミニバイククラスに参加のライダーはMFJライセンスが必要です。

参加制限タイム

●ルーキー・ジェネレーション・M-3・M-2・M-1・CBR250R Dream Cup Bクラスは技量により参加制限があります。	ルーキー	48.0秒
	ジェネレーション	45.0秒
	M-3	46.0秒
	M-2	45.0秒
	M-1	43.5秒
	CBR250R Dream Cup B	45.0秒

このクラスは決勝中に参加制限タイムを2周回切ると賞典外となります。

タイム制限クラスのクラスの変更(ルーキー・M3・M2・M1)

- 予選結果発表の掲示後15分間クラス変更を受け付けます。
- クラス変更の場合、予選順位は上位クラスの最後尾となります。
- 変更先のクラスが定員に達している場合は受付出来ない場合があります。
- 下位クラスへの変更は原則として認められません。
- レース開催日以前のクラス変更は、エントリー受付期間は可能とし、それ以降のクラス変更は不可(レース当日予選終了後の上位クラスへの変更は可)

M-3クラス・M-2クラス・M-1クラスチャレンジ制度

- 上記3クラスの決勝レース上位3台(賞典外を含む)のライダーは、上位クラスの決勝レースに出場できます。スターティンググリッドは最後尾グリッドよりリザルト順となります。

参加料金

ルーキー / ジェネレーション / SN / MFJ近畿選手権 各クラス **6,000円**
上記以外スプリント各クラス **8,000円**(近スポ会員は7,000円)

参加料金の割り

- ダブルエントリーの場合は2,000円割引きます。
- 近畿地方(京都・滋賀・奈良・大阪・三重・和歌山・兵庫)以外から参加の方は、エントリー代金総額から1,000円割引きます。

申込方法

- 申込書に必要事項を記入し、現金書留で参加費を同封して下記住所に郵送いただくか、近畿スポーツランド事務所で直接参加費をお支払いください。

近畿スポーツランド公式ホームページからもエントリーできます!

〒610-0251 京都府綴喜郡宇治田原町高尾稲尾10

近畿スポーツランド レース係

TEL / FAX. 0774-88-3633

ホームページ <http://www.kinspo.com/>

申込締切

- エントリー締切はレースの1週間前とします。
- 各クラス定員になり次第締切とします。
- ※クラス不成立、タイスケジュールは10日前に決定しますので、ダブルエントリーの方は充分ご注意ください。

受付

- 各クラス先着25台迄。包括開催の場合は、28台迄となります。
- RM250&CBR E/Bクラスは先着12台迄となります。
- エントリー台数が3台未満は原則不成立となります。
- エントリー台数の関係上、主催者判断により、別クラスとの混走又は包括開催になることがあります。
- 申し込み先着順に、ピット使用权・指定駐車エリアを選択する事が出来ます。

タイヤウォーマー

- 2019年度からタイヤウォーマーの使用を解禁とする。
- 各エントリーは自ら用意した発電機を使用し、タイヤウォーマーの電力を確保する事。サーキット電源の使用は一切認めない。
- 原則、各自の駐車エリアでのみ使用可能とする。ウェイトングエリア・グリッドでの使用は禁止(余熱巻きも含む)

ライダーの装備

- レーシングスーツ、レーシングブーツ、レーシンググローブ(手首まで隠れるもの)
背誦パッド(プロテクター)を必ず装着してください。
- 装備品車検を行う大会があります。
- ヘルメットはJIS規格C種以上またはMFJ公認、スネル規格のフルフェイスシールド付きに限ります。※オフロード用のヘルメットの使用は禁止します。
- 各装備、著しく劣化しているもの、著しく傷のある物の使用をお控えください。
- 胸部プロテクター(チェストガード)を強く推奨します。
- ヘルメットリムーバーを強く推奨します。ネックガードを強く推奨します。

ゼッケン

- 受理書にて指定されたゼッケンを、フロントカウル、シートカウルの両サイドの見やすい部分にアラビア数字で遠くからでも確実に認識できるように表示してください。
※シートカウルの面積が狭い場合、シートカウル中央に1点でも可。但し、その場合はサイドカウル(アンダーカウル)に2点表示し見やすい位置にする事。(市販品やカuttingシートが望ましい。ゼッケン・ゼッケンベース等の色は指定しません)
- 年間チャンピオンシップクラスは年間固定ゼッケンとなります。
※年度初参戦時に決定します。M系クラスとダブルエントリーの場合、M系クラスのゼッケンを優先します。シーズン途中でM系クラスとダブルエントリーをした場合、M系は違うゼッケンの振分けとなる場合があります。
それ以外のクラスは毎戦ごとにゼッケンを決定します。
- ダブルエントリーの場合で、同一車両でゼッケン番号が変わる場合はシートカウル及びサイドカウルのゼッケン表示は免除します。フロントゼッケンは付替えの工夫をお願いします。

競技方法(スプリントレース)

出走台数(25台)※RM250/CBR250R(12台)

- 参加台数により上位・同等クラスと混走となる場合があります。
- 包括開催の場合、出走台数は28台となります。

予選(約7分間)

- 各クラス公式予選を行いベストラップ順にスターティンググリッドを決定します。
※2クラス混走の場合、上位クラスのグリッドを優先とします。
※ジェネレーションクラスは予選がありません。
- 予選で一度にコースを走行する車両は25台までとします。(包括開催の場合28台)
- 予選不参加または予選タイム計測不能の場合は最後尾グリッドとなります。それが複数台の場合はゼッケン順にグリッドを決定します。

決勝レース周回数(6~15周)

決勝レースの周回数は、出走台数・天候等により6~15周とし、正式な周回数は、レース当日ライダーズミーティングで発表します。

スタート方式(シグナルまたは日章旗)

ピットロードからコースインし、サイティングラップ~予選による各スターティンググリッドに各車整列~選手紹介~ウォーミングアップラップ~再び全車がグリッドに整列後、シグナルまたは日章旗によりスタートとなります。
シグナルスタートの場合…レッドライト点灯後、全ライトを消灯した瞬間をスタートします。日章旗スタートの場合…オフィシャルが日章旗を掲げ、旗が振られた瞬間をスタートとします。ピットロードOPEN時間は最大2分間とする。
上記時間を過ぎた場合、ピットロードCLOSEからウォームアップラップ開始までに間に合った場合はグリッドに押入れは可能となるが、ウォームアップラップの進行が開始された場合はピットスタートとなる。※参加台数やトラブル等により変更される事もある。

ゴール

先頭車両が規定周回走行し、コントロールラインを通過した時点でチェッカーとなります。周回遅れの車両は、規定周回数走行してなくてもチェッカーを受けたら徐々にスロウダウンし、必ずピットインしてください。ダブルチェッカーは失格となる場合があります。

車検及び再車検

レース前の車検は、主として車両の安全性をチェックするものであり、各クラス別の車両規則違反を確認するものではありません。

エンジン、その他のメンテナンスは各車両のサービスマニュアルに記載されている整備によるもの以外は禁止します(OPクラスは除く)。

車検の手順

- 全ての参加車両は、所定の時間内に車検を受けてください。
- 失格・改善の指摘等の場合は、車検長の判断に速やかに従ってください。
- 車検合格の車両には合格のステッカーまたは印がされますので、大会終了まではこれを除去しないでください。

レース終了後の車両保管

- 上位車両は競技終了後車両保管となります。競技終了時点でピットに戻らず指定車検場に速やかに移動してください。
(特に問題がない場合、競技長の判断で車両保管されない場合もあります)
- 車両保管解除までは車両の移動を制限します。

再車検

- 再車検での分解等は車検長の指示に異議なく従ってください。
- 再車検時の部品測定値はサービスマニュアルの基準値とし、純正部品であっても基準値を超えるものは違反とします。
- 再車検は原則、参加者側が車検長の指示に従って分解し、再車検により生じる部品の汚損、破損、調整の変化等は参加者の負担とします。
- 再車検において、車検長がレース当日中に、車両保管を解除することができないと判断した場合、当該車両または部品を預かり、検査終了後速やかに返却するものとします。また、参加者はこれを拒否することはできません。
- 再車検での分解等の指示に従わない場合は、レース失格となる場合があります。

競技中規則

- ①ピットロードは人も往来している場合があるので必ず徐行すること。
- ②本コースにコースインするときは、本コースに後続のマシンがない、もしくは十分な距離があることを確認し、必ず手でコースインの合図をすること。(本コースが絶対優先)
- ③本コースにコースイン後の1コーナーはイン側を走行せず、アウト側を大きく回ること。
- ④本コース直線上の黄線左側は進入禁止区域とする。危険回避以外で進入しないこと。
- ⑤本コース直線上での急な進路変更、蛇行走行、幅寄せ、前走者の直後に着く等の行為は厳禁とする。非常に危険です。
- ⑥プッシング、ブロック、非スポーツマン行為等の危険行為、妨害行為をしてはならない。ラフプレーの危険度、内容、程度、それにとまう結果、コースオフィシャル、ライダー(当事者)の意見を総合的に判断して競技長が最終的に判断する。(危険行為、妨害行為に対する判定の抗議は一切受け付けない)
- ⑦最終コーナーで転倒・停止した場合は、本コースへの復帰は禁止する。オフィシャルの指示に従い、必ずピットロードに避難すること。
- ⑧コース上で転倒した場合、後続車との衝突を避けるため、すぐ動かないこと。後方確認後、コース外の安全な場所へ避難すること。
- ⑨マシントラブル等で停止する場合は、コース上に停車しないで、コース外の安全な場所に停車すること。
- ⑩競技中はオフィシャルが掲示するフラッグ(旗)の意味に必ず従うこと。
- ⑪予選・決勝中、コースをショートカット、バイパス走行してはならない。
- ⑫走行中いかなる場合もコースを逆走してはならない。(オフィシャルの指示の場合を除く)
- ⑬走行中いかなる場合もコースを横断してはならない。(オフィシャルの指示の場合を除く)

ライダーズミーティング

- 参加者は必ずライダーズミーティングに参加してください。
ライダーズミーティングに不参加の場合、レースに出場することはできません。

競技中断

- 競技中の重大な事故、著しい気象条件の変化により競技を中断する場合は、コントロールタワー前及び指定ポストで赤旗を掲示します。各ライダーは細心の注意をし、スロウダウンしてピットインし、全車ピットロードに待機してください。
- 赤旗中断・再レースになった場合、当該レース(赤旗時)をトラブル等によりスタート出来なかった選手は再レースの際は最後尾グリッドからスタートとする。

競技の成立

- 赤旗等の場合、競技の3分の2を終了していれば競技成立となる場合があります。何らかの事情で、決勝レースが行えない場合、予選結果をもって最終結果とすることがあります。その場合、如何なる理由であっても、抗議や参加料の返還請求は受け付けません。

罰則

- 警告→タイム加算→順位降格→失格→出場停止→退場処分→今後一切の近畿スポーツランド入場禁止等。

賞典

賞典授与基準(◎)

参加台数	1~4台	5~8台	9~12台	13~16台	17~20台	21台以上
順位 優勝	◎	◎	◎	◎	◎	◎
~2位	×	◎	◎	◎	◎	◎
~3位	×	×	◎	◎	◎	◎
~4位	×	×	×	◎	◎	◎
~5位	×	×	×	×	◎	◎
~6位	×	×	×	×	×	◎

特別賞

- 順位とは関係なく、健闘した選手や盛り上げてくれた選手などに、特別賞が授与される場合があります。

シリーズ表彰及び年間ランキング獲得ポイント

FN4&FP・M-GP・OP・NSF100HRCTロフィー・HRCグロムカップ・74Daijio・LM17・SPクラスは、全3戦の参加台数が合計45台以上あった場合は3位まで、合計30台以上の場合は2位まで、合計29台以下の場合は1位のみ、獲得ポイントの合計により年間ランキングを決定し、シリーズ総合チャンピオンとして表彰します。

CBR250R Dream Cup Eクラスは、全3戦の参加台数が合計20台以上あった場合は3位まで、合計15台以上の場合は2位まで、合計14台以下の場合は1位のみとなります。

※2位以下には副賞を授与します。

※全3戦の参加台数が合計14台以下(CBREクラスは7台以下)の場合は、チャンピオンシップ不成立となり年間表彰はありません。

※不成立等で参加台数が少ないクラスは、翌年のシリーズ戦は特別開催とする場合があります。

年間ランキング獲得ポイント

1位20ポイント 2位17ポイント 3位15ポイント 4位13ポイント 5位11ポイント
6位10ポイント 7位9ポイント 8位8ポイント 9位7ポイント 10位6ポイント
11位5ポイント 12位4ポイント 13位3ポイント 14位2ポイント 15位1ポイント
※上記ポイントの他にボーナスポイントが加算される大会が開催される場合があります。

年間ランキングの同ポイント時の順位基準

上位順位獲得回数→最終戦の決勝順位→最終戦の予選順位→第2戦の決勝順位→第1戦の決勝順位

CBR250R Dream Cup Eクラスの年間ランキング獲得ポイント及び年間ランキング順位決定基準はCBR250R Dream Cup 規則に準じます。

MFJ近畿選手権の年間ランキング獲得ポイント及び年間順位決定基準は別途MFJ近畿選手権の規則に準じます。

車両規則

下記レギュレーションに記載されていない事項は、原則不可となります。拡大解釈の無いようご注意ください。
不明な部分は、お問い合わせください。

全クラス共通車両規則

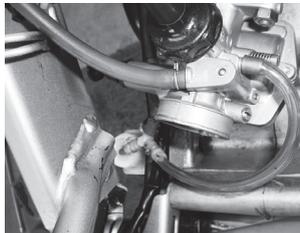
- 保安部品、ミラー、スタンド、ナンバープレートは取り外すこと。ライト、ウィンカー、テールランプは取り外すか、テープで飛散防止すること。
- エンジン・ミッション・ブレーキオイル及び冷却水等油脂類は変更可。
- ラジエーターに不凍液が入っている場合は水に取り替えること。
- ラジエーター装着車は、容量100cc以上のリザーバータンクまたはキャッチタンクを取り付けること。サーモスタットは取り外し可。
- キャブレターホース類に容量100cc以上の耐油性のある透明または半透明の燃料キャッチタンクを取り付けること。
- 4スト車両はオイルキャッチタンクを必ず取り付け可。
※エアクリナーボックスがオイルキャッチタンクの機能を兼ねている車両はその限りではない。
※フリーザーホースは大気開放せずキャブ吸入口の一番低い個所の水平線よりも上部に取り付けること。
- 燃料キャッチタンク・オイルキャッチタンクは必ず空にしておくこと。
- 4スト車両は、全オイル量が受けられる容量のアンダーカウルの装着を義務付ける(スクーターは除く)。
- 各部品が溶接またはボルト・ナット等で、確実に正しく取り付けられていること。
- オイルフィルターキャップ、オイルドレンボルト、オイルフィルター(スピコン式)にはステンレスワイヤーを用い、ネジの締まる方向に引っ張り、フレーム等に固定し、ワイヤーロックを施すこと。
- パイプ、ホース類はクリップ止め等の簡易なものでは確実に耐れない方式に交換すること。また使用するホースは、耐熱・耐油性を満たした物で、漏れないように確実に固定すること。
- 前後各ホイールに効果的なブレーキがなくてはならない。
- 著しく尖った部分や鋭利な部分がないこと。レバー、ステップ、ペダル、ハンドルの先端は丸みを帯びた形状であること。
- ハンドルのバーエンドキャップは必ず取り付け可(ジュラコン製が望ましい)。
- ハンドルは、左右一杯に切った状態で、ライダーの指を挟むことがない程度の隙間があること。
- 走行中に路面等に接触するステップ、突起物等は取り除くか、加工(切断、研磨)等すること。
- ミッション車はスイングアーム下側にリアスプロケットガードを必ず取り付け可。
- チェーンカバーは材質・形状の変更可。
チェーン駆動車はフロント、リアスプロケットの両方にチェーンカバーを装着すること。但し、リアフェンダーがチェーンカバーの機能を完全に満たしている場合に限り取り外し可。
- 安全上問題のないカウル類の変更・取り外し可。それに伴う不要ステー類の切除も可。FN車両は市販時のシルエットを保っていいは変更可。※但し、各部分が危険な形状にならないこと。
- 排気音の極端に大きいものは不可(主催者判断)。
- スロットルワイヤー変更可。
※但し、SN50/FN4はスロットル変更不可(ハイスロ不可)。
- セルモーターの取り外し可。

- オーバーサイズピストンの使用は不可(但し、OPは除く)。
- シリンダーヘッド・ガスケット等は同年式の組み合わせ以外は変更不可(但し、OPは除く)。
- ホイールカラーの変更及びダストシール・メーターギアの取り外し可。
- 同一形式以外でのエンジン・フレームの交換は不可(OPは除く)。※但し、NSR mini⇔NSR50、NS50⇔NS50Fは可。
- 燃料は無鉛ガソリンとし、通常のガソリンスタンドで購入出来るものに限り。その他一切の燃料添加剤・添加物の使用は禁止。
- タイヤウォーマーの使用は可。※但し、サーキットの電源の使用禁止。安全に整備された発電機を使用する事。
- ルーキー・ジェネレーション・M-1・M-2・M-3・CBR Dream Cupビギナークラスはラップタイム自動計測器やストップウォッチ等、決勝中のタイム表示機能機器の使用は不可。
- メーカー純正部品の廃番により、同メーカー他車種の純正部品を無加工で装着出来、且つ性能向上にならない純正部品の流用可。
- メーカー純正部品の廃番による社外部品の純正補修パーツの装着は無加工で取付け出来、性能向上にならないパーツの使用は可。但し必ず事前に使用パーツを申告する事。但し、ブレーキ関連パーツ(キャリパー・マスターシリンダー・ディスク)の社外部品の使用は原則認めない。

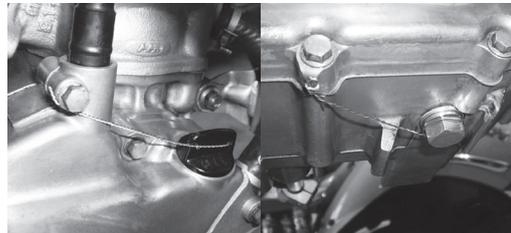
その他、車検長が、危険または著しく不正と判断した車両は、出走停止・不合格・改善指示の判断をする。その決定に対して、異議を申し立てすることは認められない。



燃料キャッチタンク



燃料キャッチタンクのパイピング



ワイヤーロック



リアスプロケットガード

クラス別車両規則

M-3 M-2 M-1 M-GPクラス (M系4クラス共通)

参加可能車両

2スト排気量50cc未満のミッション付車両

(KSR80は可)

4スト排気量100cc未満のミッション付車両

(GROM※HRC車両含む・Z125Pro・KSR110等は可)

ホイール径12インチ以上

(各車両市販時の純正サイズを使用)

◆NSF100HRCトロフィーと同一車両でダブルエントリーの車両は、NSF100HRCトロフィーのレギュレーションに従い参加してください。

◆HRCグロムカップと同一車両でダブルエントリーの車両は、HRCグロムカップのレギュレーションに従い参加してください。

■特別仕様車

APE100及びXR100MiにCRF100マフラー使用の車両の参戦を認めます。

※上記マフラー使用する車両のみ、NSF100及びCRF100の純正(22パイ)キャブレターの使用を認めます。その場合、CRF100のインテークマニホールドを使用できます。

■エンジン関係

×改造・変更・研磨一切不可。ノーマルとする。

○サービスマニュアルに記載されているエンジン整備は可。

※4スト車両のバルブのすり合わせやシートカット等。

○メインキーはキルスイッチがあれば取り外し可。

○キャブレター・ジェット類・スパークプラグ・プラグキャップ・プラグコード変更可。

×イグニッションコイルは変更不可。

※但し、NSF100を除く4スト車両は変更可。

○エアファンネル等の取り付けは可。

○リミッターカット及びCDIユニット及び電装ハーネス変更可。

×内圧コントローラーの取り付けは不可。

○クラッチスプリングの変更可。

○クラッチプレート及びフリクションディスクの枚数変更可。

それに伴うクラッチセンターの純正部品の流用可。

○クラッチハウジングの段付修正のみやすりかけの処理は可。

○キックペダル及び関連部品の取り外し可。

○インジェクション車両のECUの変更可(サブコン・フルコン可)。

※メーカー純正標準装備以外のオートシフターの使用は不可。

○ハイスロ使用に伴う純正(22パイ)キャブレター・トップキャップの変更可。

○XR100M、APE100/100D、NSF100のエンジンパーツの互換性を認める。

※但し、性能に影響する改造は一切認めない。

■チャンパー・マフラー

×2スト車両は変更不可。

※但し、同一メーカー同排気量で、無加工で装着できる物は可。

×NSF100はマフラーの変更不可。

○NSF100以外の4スト車両はマフラーの変更可。

○チャンパーマフラーの補修補強可。

※但し、性能に影響する改造は一切認めない。

■ショック・スプリング

○リヤサス変更可。アダプターの追加も可。

※但し、数量、取付位置の変更・改造は不可。

×フロントサスペンション変更不可。

※但し、ダストシールの取り外し、オイル・油面・インナーパーツ

イニシャルアジャスターの変更・改造及びスタビライザーの装着可。

※GROMはカートリッジへの変更可。

○ステアリングダンパーの装着可。

○リアサス保護を目的とした遮熱板及び最小限のバンテージの装着可。

※但し、性能に影響する改造は一切認めない。

○リアサス保護を目的とした遮熱板及び最小限のバンテージの装着可。

※但し、性能に影響する改造は一切認めない。

○リアサス保護を目的とした遮熱板及び最小限のバンテージの装着可。

※但し、性能に影響する改造は一切認めない。

○リアサス保護を目的とした遮熱板及び最小限のバンテージの装着可。

※但し、性能に影響する改造は一切認めない。

○リアサス保護を目的とした遮熱板及び最小限のバンテージの装着可。

※但し、性能に影響する改造は一切認めない。

○リアサス保護を目的とした遮熱板及び最小限のバンテージの装着可。

※但し、性能に影響する改造は一切認めない。

■ブレーキ関係・フレーム・外装

○ホース、バンジョーボルト、パッド、シュー、ワイヤー、オイル、レバー、リヤブレーキタンクレスキットへの変更可。

○パッドスプリングの取外しは可。

○キャリパーガード、マスターシリンダーガードの取付け可。

×フレームの変更不可。

○クランクや破損等による溶接等の補修は可。

※但し、性能向上になる溶接等は一切認めない。

○純正カウル以外を取り付けるための最低限の切削・加工可。

○前後スプロケット、チェーン(サイズ)、ハンドル、ステップ、トップブリッジ、カウル・シート類の材質・形状変更可。

○メーター類取り外し・変更可。

※但し、性能に影響する改造は一切認めない。

ルーキークラス

参加可能車両

2スト排気量80cc未満のノーマルエンジン、
ミッション付車両及びスクーター
4スト排気量125cc未満のノーマルエンジン、
ミッション付車両及びスクーター

※但し、OPクラス・S80・キッズ・74車両での参加は不可。
※上記基準に合致しない車両でも性能的に有利にならない車
両であると主催者が認める場合は参加可。
○チャンパー・マフラーの変更可。

上記条項以外はM系4クラス規則に準じます。

ジェネレーションクラス

参加可能車両

M系4クラス・NSF100HRCトロフィー・FN4&FP・
LM17・HRCグロムカップクラスに準ずる
特別開催クラスの車両、FN、FP4-STの参加も認
める

※ルーキークラスとダブルエントリーの場合は例外的にルーキー
クラス参加車両での参加を認めます。

NSF100 HRCトロフィー

HRC GROM CUP

参加可能車両

NSF100
ホンダGROM
(2016年以降の主催者が認める車種)の市販車、及び
HRCレースベース車に限定される

2020年度NSF100 HRCトロフィー及びHRCグロムカップ
規則に準じます。詳しくはHRCホームページを参照。

[http://www.honda.co.jp/HRC/
event/nsf100hrc trophy/](http://www.honda.co.jp/HRC/event/nsf100hrc trophy/)
[http://www.honda.co.jp/HRC/
event/hrcgromcup/](http://www.honda.co.jp/HRC/event/hrcgromcup/)

CBR250R Dream Cupクラス

参加可能車両

CBR250R

2020年度CBR250R Dream Cup規則に準じます。

詳しくはCBR250R Dream Cupホームページを参照してください。
[http://www.honda.co.jp/HRC/
event/cbr250dreamcup/](http://www.honda.co.jp/HRC/event/cbr250dreamcup/)

MFJ近畿ミニバイククラス

参加可能車両

ホイール径12インチ4st125cc未満のミッション車両
※本特別車両規則に準ずる車両。
(承認競技会の為、MFJ公認車両以外も可)

2020年度近畿ミニバイクロードレース選手権シリーズ規則
に準じます。

※M系4クラスとほぼ同じ内容です。
詳しくは下記ホームページを参照してください。
2020近畿ミニバイクロードレース選手権 開催概要(特別規則)
[https://www.jmpsa.or.jp/block/kinki/race/
e11558.html](https://www.jmpsa.or.jp/block/kinki/race/e11558.html)

FN-4クラス

参加可能車両

4スト排気量125cc未満の
国内で通常ルートで販売されている
ホイール径10インチスクーター

- ※2バルブ125cc未満・4バルブ115cc未満は無条件で参戦可。
- ※4バルブ125cc未満の車両については、車両戦闘力の均衡を
図る為の措置を適宜主催者判断で請じ、それに従うこと。
- 灯火類の取り外し可。
- メーター類の取り外し、取り付け可。(aim・パーカル等のマルチ
メーター不可)
- メーターワイヤー取り外し可。
- メーターギア取り外し可。
- メッシュホース(Fブレーキホース)の取り付け可。
- 油脂類(ブレーキフルード・エンジンオイル・フォークオイル・
各部塗布グリス)の交換・変更可。
- 路面接触の緩和、ライダー体格差補正のための車高調整用
アダプタ追加可。及び突き出し量変更のステム小加工は可。
- 路面保護、安全性確保のための車体路面接触部分の最小限
の切削可。
※但し、指定部分のみ(開催途中の変更あり)。
※走行性能に関わる可能性のあるマフラーの切削加工は不可。
※安全性に問題がある(強度低下等)と思われる切削加工は
不可。
- タイヤ変更可。(純正サイズ変更も認める)
- ウエイトローラー変更可。
- リアサスペンション変更可。
- ×リアショックの取り付け位置、取り付け形状の変更・仕様変更
は不可。
- バーエンド、グリップの追加・変更可。
- ブレーキレバーの変更可。但し、無加工の物に限る。
- ブレーキパッド交換可。
- カバー類の追加・変更可。(ライトカバー等追加、社外カウル
への変更)
- プラグの変更可。
- ×FNクラスでOKな、プラグキャップ変更、インジェクションコン
ローラー追加、キャブパーツ変更、アース追加、ハーネス加工、
ホイールカラー変更等、専門特殊知識を要したり、コストUPといった
参入に抵抗につながるものは全て不可。
- 駆動系は、同一車種でも年式による仕様変更が存在する為、
その部品の使用は認めるが、変更がある場合は事前に変更
申請すること(要品番提示)。変更があるのに申請のない場合、
レギュレーションに合致しても失格とする。
- ×限定仕様車の走行性能に関わるパーツは、原則使用禁止。
- ×バルブすり合わせ、バルブシートカット、クリアランス調整につい
ては、基本メンテナンス範囲(サービスマニュアル記載内容)以外の
方法(シートカットの角度変更等)は不可。また、規定値を超える
状態への設定、加工は失格となる。その他の研磨、アタリ取りは
すべて不可。

OPクラス

参加可能車両

●4スト排気量125cc未満12インチ以下の車両
※但し、GROM・Z125・KSR110は150cc未満まで可
●4スト排気量150cc未満
13インチ以上17インチ以下の車両
市販車150ccアルミフレームは125cc迄
●2スト排気量80cc未満の車両
●MH80ノーマル車両(ノーマルエンジン)
●モタード2st 排気量85cc未満の車両
●モタード4st 排気量150cc未満の車両
●スクーター
4スト156cc未満の車両
2スト110cc未満の車両(アルミフレームは70cc未満)

■エンジン関係

○規定排気量以外の改造可。
※但し、レース専用エンジンは、MH80とモタードのみとし、
エンジンの改造・変更不可。

■チャンパー・マフラー

○変更可。
※但し、有効な消音機能を有し、一般良識の範囲で著しく
大きな排気音でないこと。サイレンサー後端がリヤタイヤ
後端を超えないこと。音量・形状・取り付け不備については、
車検長・大会役員が判断する。

■ショック・スプリング

○変更可。
※但し、安全性に問題のある変更改造は認めない。

■タイヤ・ブレーキ

○ブレーキ関係部品変更可。
※但し、安全性に問題のある変更改造は認めない。
○17インチ車両のレーシングレインタイヤの使用可(MH80・
モタード車両も含む)。
○スリックタイヤは17インチ車両及びモタードのみ使用可。
※12インチ車両のタイヤはM系4クラスに準ずる。

■外装・フレーム

○変更・改造可。アルミフレーム可。
※但し、2ストスクーターのアルミフレーム使用車両には排気量
制限あり。4ストスクーター・モタード・MH80はノーマル
フレームのみ。

■その他

×危険な改造は不可。安全上問題のある車両は、主催者・車検
長の判断で、出走を禁止する場合がある。
○上記条項以外の改造変更可。

FPクラス

参加可能車両

排気量50cc未満・
ホイール径10インチスクーター

■エンジン関係

メインキーでエンジンが始動・停止できること。

■その他

- 油脂、グリスの変更・交換可。
- シートスポンジ加工可。シート地の張替え可。
- バッテリーの取り外し可。
- クーリングファンの流用可。
- マフラーの変更可。
- 駆動系の改造・変更可。
- スターター関連部品の取り外し変更可。(クランクシャフト・
リアホイール改造変更不可)
- オイルポンプの改造・変更・取り外し可。
- フロントフォークの改造変更可。
- チャージコイルの改造変更及び取り外し可。
- エアクリナーボックス・エレメントの改造・変更、取り外し可。
- ファンネルは無加工で取り付けられるものは可。

上記条項以外はM系4クラスの車両規則に準じます。

RM250クラス

参加可能車両

4スト250cc未満17インチのミッション車両
CBR250R/RR・YZF-R25・Ninja250/SL・GSX250R等

JP250のレギュレーションに沿った内容です。

- × フロントサスペンションの変更不可。
※但し、ダストシール・オイル・インナーパーツの改造・変更は可。
- ステアリングダンパーの装着可。
- リアサスペンションの改造・変更可。
- エキゾーストパイプ及びサイレンサーの改造・変更可。
- 前後ブレーキパット・ホース・バンジョウボルトの変更可。
- ブレーキディスクの変更可。
- ブレーキレバー・クラッチレバー・ブレーキペダル・チェンジペダルの変更可。
- クラッチケーブル・スロットルケーブル・スロットホルダーの変更可。
- カウルの変更可。それに伴うカウルステーの変更可。
- ラジエターの交換・サブラジエターの追加可。
- クラッチスプリングの変更可。
- ECUはユニットの変更・交換可。サブコンの取付け可。
- ワイヤハーネスの改造・変更可。
- エンジンレプリミッター・スピードリミッター（イグナイター含む）の変更可。
- スパークプラグ・プラグキャップ・ハイテンションコードの変更可。
- オイルプリーザーラインに逆止弁（ワンウェイバルブ）の追加は禁止。
- バッテリーの変更可。
- タイヤは一般公道走行可能タイヤに限る。
※但し、レインタイヤを除く。

転倒時に地面と接触をする恐れのある、クランクケース及びエンジンカバーに厚さ2mm以上の樹脂製（FRP・カーボン等）の2次カバーを強固に取り付けること。但し、カウルが2次カバーの役割を完全に満たしている場合は免除となる。

SN50クラス

参加可能車両

2スト/4スト50cc未満10インチスクーター

レギュレーションは別紙参照。

ご質問は近畿スポーツランドにメールでお問合せ下さい。

74Daijroクラス

参加可能車両

74Daijro

2019年39Cup規則に準じます。

詳しくは39Cupホームページを参照して下さい。

<http://fmsc.flex-racing.net/>

LM17クラス

参加可能車両

●4スト125cc未満17インチのミッション車両
GSX-R125・CBR125R・YZF-R125・
GSX-S125・RS4・DUKE125/RC125等

- ECUセッティングによる燃料調整及びレプリミットの変更は可。それに伴うサブコンの使用可。
※純正ECUの書換え及びフルコンの使用は不可。
- フロントマスターシリンダーの変更可。但しピストン径は1/2（12.7mm）以下とする。
- リアサスペンションの変更可。それに伴うアダプターの使用やリンク及びリンクベアリングの改造・変更も可。また、ストロークセンサーの追加も可。
- ラジエターの変更・改造可。
- × スロットルボディ本体の改造・変更は一切不可。
- マフラーの変更可。
- タイヤは一般公道用に市販され通常ルートで購入できるタイヤのみ使用可。
- × スリックタイヤ・グルーピング及びカッティングは使用不可。但し、レーシングレインタイヤの使用は可。
- クラッチスプリング・フリクションディスク・クラッチプレートの改造・変更可。
- 燃料ポンプの改造・変更可。
- 戦力バランスを考慮し、aprilia RS4のみ150ccまでのポアアップを認める。
- ABS機構キャンセルを目的とした部品の取外し処理は可。

転倒時に地面と接触をする恐れのある、クランクケース及びエンジンカバーに厚さ2mm以上の樹脂製（FRP・カーボン等）の2次カバーを強固に取り付けること。但し、カウルが2次カバーの役割を完全に満たしている場合は免除となる。

上記条項以外はM系4クラスの車両規則に準じます。

※シーズン途中で規則の追加変更を行う場合があります。

参考 桶川スポーツランド様

SPクラス

参加可能車両

●2スト50cc未満/4スト100cc未満
17インチ以下のミッション車両
※グロム・Z125は参加可
NSR50/mini・NS50F/R・NSF100・Ape100・
XR100M・GROM等

■チャンバー・マフラー

- チャンバー・マフラーの変更可。

2スト車両

- ピストンに装着されているエキシバンダーリングの取り外し可。

上記条項以外はM系4クラス車両規則に準じます。

4スト車両

エンジンはミッション付き4ストローク125cc、メーカー出荷時のノーマル状態とする（クラッチ系・ミッション系部品含む）

■エンジン関係

- あたり取りは可。
- × 追加のホーニング処理やヤスリやリユーターを使用することは厳禁とする。
- キャブレターの変更可。
- マニホールドの改造・変更可。ジェット・ニードル・スロットルバブルの改造・変更も可。
- キャブレター口径22φ以下の使用車両に限りハイカムの使用可。但し、カムホルダー・ロッカーアーム等ヘッド周りのパーツを無加工で取付けられる事。バルブタイミング調整を目的としたカムスプロケットの最小限の長穴加工も可。
- PD22チョークバルブの取外し可。その際の取付け穴の閉止処理は可。
- イグニッションコイル・スパークプラグ・プラグコード・プラグキャップの改造・変更可
- フライホイールの改造・変更可。但し加工する際は耐久性を損なわないこと。
- オイルクーラーの取付け可。それに伴うヘッドカバー・クラッチケースカバーの改造・変更可。
- オイルポンプの改造・変更、オイル通路の拡張・閉止加工可。
- クランクケース内圧コントロールバルブの取付け可。
- Lケースカバーの改造・変更可。
- クラッチセンター（クラッチボス）の改造・変更可。
- NSF100・XR100M/R・エイプ100（タイプD）CRF100に關しては、純正部品の流用を可とする。
但し、XR100RシリンダーASSY（12100-436-000）の使用は不可。

■フレーム関係

- × アルミフレーム・オリジナルフレームは禁止する。
- 2スト車両のフレームに4スト100ccエンジンをスワップする際のエンジンハンガーの使用・追加のステーは可。

上記条項以外はM系4クラスの車両規則に準じます。

■SP4クラス特別規則

※主催者が認める他のミニバイク選手権の同等クラス（SP仕様）での参加を原則認めます。事前に主催者に必ずお知らせください。

特別開催クラスについて

参加者側からの要望等により、規定以外のクラスが開催される場合、レギュレーションはそのクラスのもっとも一般的な車両規則に基づき開催するものとします。
また、最低開催台数は7台以上となります。

車両規則に該当しない車両について

パーツの廃盤、入手困難等の事情により、近畿スポーツランドロードレースシリーズの車両規則に該当しない車両でも、総合的に判断し、該当クラスの車両と比較し、優位性がなく、かつ安全性に問題ない場合は参加を認める場合があります。最終的に車検長と主催者が、参加可能か不可、賞典外等を判断しますので、エントリーの前にご相談ください。事前に出場許可を得ることが出来ない場合は受付出来ません。

大会規則

1. 主催者の権限

- ・主催者は競技運営に関する全ての権限を有する。
- ・主催者は理由を明かすことなく参加を拒否する事ができる。
- ・主催者は大会秩序を乱す者、または乱す恐れのある者に対し開催当日でも参加拒否できる。
- ・主催者は参加者、同行者の肖像権及び参加車両の写真、映像、音声の権限を有する。また、第三者に使用許可に関する権限も有する。

2. 参加者の責任と義務

- ・参加者は所定の申込用紙(同サイズ、コピー可)に必要な事項を漏れなく記入し、誓約書に署名、捺印し、参加料を添え、各申込締切日までに近畿スポーツランドに持参、もしくは現金書留にて郵送するものとする。但し参加者が未成年の場合、親権者の自筆署名・実印の押印・印鑑証明の添付(コピー可、3か月以内)を不備なく提出すること。
- ・HPからのエントリーの場合、申し込み後遅滞なく参加費を振り込み、受付時には所定の承諾書に署名捺印すること。
- ・申込用紙に虚偽の申告をした者は判明次第、失格となる。
- ・参加者は本規則書、近畿スポーツランド規則を遵守することはもとより、参加者に同行するもの全員にも同様に遵守させる責務を負う。
- ・参加者及び同行者は主催者、オフィシャル、その他関係者の指示や決定に従うものとする。
- ・参加者及び同行者は主催者、オフィシャル、その他関係者、他の参加者、同行者に対して、非難、中傷、暴言を吐いてはならない。
※インターネット(SNS等)での非難・中傷も含む
- ・参加者及び同行者は各自の家族に誓約書の内容、競技に伴うリスクを充分説明し、理解を得ること。
- ・暴力団構成員、準構成員、関係者、または懲役刑を受けた者で、執行猶予期間の満了しない者刑法犯罪またはそれに類する犯罪で罰金刑以上に処せられた者。刑法犯罪で執行猶予期間が満了し、5年を経過しない者は参加、来場できない。また、チーム員、チーム関係者、ヘルパーその他名目の如何にかかわらず参加、来場、観戦できない。

3. 抗議

- ・抗議をすることができるのは参加者に限られ、書面によりその内容を具体的に記載し、抗議対象1件につき保証金10,000円を添え競技長あてに対象レース結果発表後30分以内に提出すること。審議の結果、当該抗議が認められる場合、または妥当な抗議であるが裁定が変わらない場合は返還されるが、抗議自体が妥当でないとして競技長が判断した場合没収される。但し、主催者側の判定や決定に関する抗議は受け付けない。

4. 罰則

- ・大会中、諸規則違反、良識に反する違反があった場合、罰則を課する。警告、順位降格、失格、出場停止、退場処分、今後一切の近畿スポーツランド入場停止等、主催者側で判断の上決定する。

5. 損害の補償

- ・大会中参加者及び同行者の死亡、傷害、車両(搬送車両含む)等の損害について、主催者及び全ての関係者は一切の責任を負わない。たとえそれが主催者、大会役員、関係者の過失によるものでも同様とする。
- ・各参加者が個人的に別途、死亡・傷害保険に加入する事を強く推奨する。

6. 傷害補償

- ・近畿スポーツランドセフティーメンバーに加入することを強く推奨します。加入希望者はレース10日前までに所定の方法で申し込むこと。

補償内容

- ・死亡2,000万円・後遺傷害3,000万円(最高)・入院4,000円(1日)・通院1,500円(1日)
- ※入院及び通院には日数制限があります。
- ※この保険は近畿スポーツランドが幹事となり、(財)スポーツ安全協会のスポーツ安全保険に団体加入するものです。

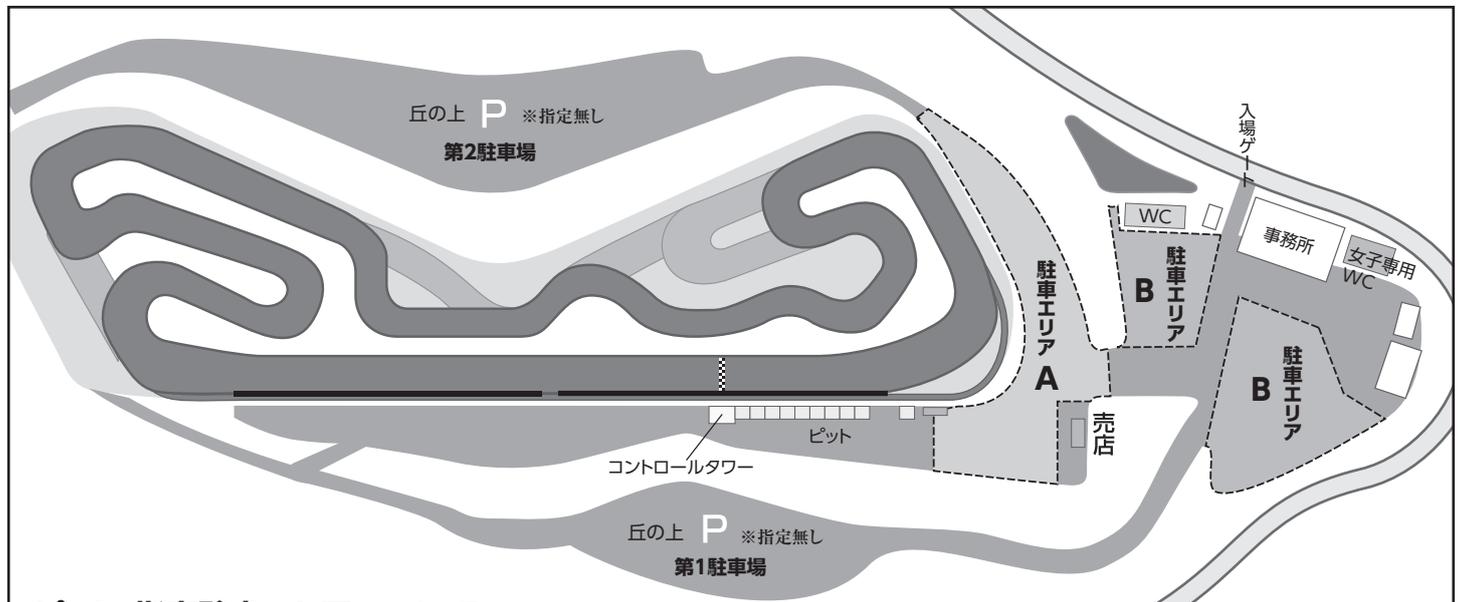
7. 大会の中止

- ・本大会は悪天候でも開催される。但し、主催者が大会開催を困難と判断した場合中止する。例(記録的豪雨、積雪、台風、凍結、地震、その他の災害で開催が困難な場合やコース、設備の破損)
- ・大会中止の場合、原則として後日に順延され参加料は返還されない。また、急な天候の変化、重大な事故等の場合も競技が中断・中止される場合もある。この場合参加料は返還されない。
- ・決勝レースが行えなかった場合、予選結果をもって決勝リザルトとする場合がある。

競技開催中の規則

- ・競技開催中は下記条項を参加者及び同行者は遵守する。
- ・ライダー及び関係者以外の走行中の本コース内の入場は絶対厳禁。(各参加者は同行者に充分説明する事)
- ・コース以外の場所(駐車場パドック等)でのウォーミングアップ走行禁止また、出場車両での場内移動は禁止。
- ・ピット内や車両整備の近く、ピットロード、ガソリンの近くではタバコを含み火気厳禁。またタバコのポイ捨ては厳禁。
- ・参加者は飲酒、薬物使用厳禁。前日の飲酒も控えめにすること。
- ・タイヤ、部品、粗大ゴミの場内投棄を禁ずる。(各自適法に処分すること)。その他のゴミもポイ捨て厳禁。
- ・駐車指定エリアの権限のない車両は指定駐車エリアに駐車してはならない。また駐車許可証のない車両も指定エリアに駐車する事ができない。
- ・各参加者の搬送車両は必要以上のスペースを取らないこと。同行者の車両は丘の上の駐車場に駐車し、パドックには駐車しないこと。主催者の権限により車両の移動を命じることがある。特にマイクロバス等の大型車両の場合主催者が駐車場所を指定する。
- ・幼児やペットはピット・ピットロード・パドックの進入を禁止する。その他の場所であっても必ず保護者が同行すること。

指定駐車場略図



ピット・指定駐車エリアについて

- ・丘の上の駐車場以外の全ての駐車場(ピット含む)は、エントリーの早い方より順にエリア指定となります(下図のようにAエリアとBエリアに分けられます)。
- ・エントリー用紙に第一希望と第二希望を記入してください。
- ・希望エリアが未記入の場合は丘の上の駐車場となります。
- ・第一、第二希望が満杯の場合は、残りのピットもしくは駐車エリアとなります。
- ・ピット使用权を獲得された方は、A・Bエリアには駐車できませんので、車両は丘の上に駐車してください。
- ・各ピット・エリアは定員になり次第締切ます。
- ・権利がある方は駐車証明が受理書と共に配布されますので、車両のフロントガラス部分に、見やすいように表示してください。(※テントの方はテントの見やすい場所に表示)
- ・お電話やメールでの空き状況・権利獲得状況は、お答えできません。
- ・バス(コスター)・トラック等の大型車両はご希望に添えない場合があります。

- ・指定エリア内の場所取りは、大会前日の練習走行終了後からとし、それまでの場所取りは禁止です。置いたままのタイヤやイス、その他は、発見次第撤去させていただきます。(撤去物の責任は負えません)
- ・駐車スペースは1エントリーにつき1台分となります。
- ・駐車スペースにテントを張られる場合、車両は丘の上の駐車場に駐車してください。但し、車両の前・後に他の車両の邪魔にならず、移動が容易な小さなテントは利用可能です(畳2畳分程度)。尚、駐車スペースは2.5m×5mです。
- ・ライダー以外(チーム員・他)の車両の方は丘の上の駐車場に駐車してください。
- ・チーム単位で大型テントを張られる場合は、権限のあるエントリー数以上の駐車スペースを取らないでください。(事前に主催者に申告してください)
- ・関係者・協賛者専用スペースには駐車しないでください。
- ・ピット裏の主催者の設置したコーンが置かれている場所は駐車禁止です。

